



未来を変えるために 今、私たちができること

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2016年9月に国連総会において採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)は、2016年から2030年までの15年間で世界の課題を解決し、持続可能な社会を実現するための17の目標を掲げられています。

日本では、SDGsが採択された翌年の2016年に、総理を本部長とし、すべての閣僚大臣をメンバーに据えた「持続可能な開発目標推進本部会合」がスタート。2019年には、行動の10年に向けた「SD

日本では、SDGsが採択された翌年の2016年に、総理を本部長とし、すべての閣僚大臣をメンバーに据えた「持続可能な開発目標推進本部会合」がスタート。2019年には、行動の10年に向けた「SDGs」の取組が世界各地で進められていますが、国連は2020年から10年をSDGs達成のための「行動の10年」とし、さらに取組のスピードアップと規模拡大を呼びかけています。

日本では、SDGsが採択された翌年の2016年に、総理を本部長とし、すべての閣僚大臣をメンバーに据えた「持続可能な開発目標推進本部会合」がスタート。2019年には、行動の10年に向けた「SDGs」の取組が世界各地で進められていますが、国連は2020年から10年をSDGs達成のための「行動の10年」とし、さらに取組のスピードアップと規模拡大を呼びかけています。



これまで日本では、企業がボランティアや寄付による利益の一部を社会に還元する「CSR(企業の社会的責任)が盛んに行われていました。しかし現在は、本業にSDGsの取組を取り入れ、新たな技術やノウハウで課題解決とビジネス拡大を両立させるといふ新たな仕組みが、企業にとって不可欠となっています。

これまでも日本では、企業がボランティアや寄付による利益の一部を社会に還元する「CSR(企業の社会的責任)が盛んに行われていました。しかし現在は、本業にSDGsの取組を取り入れ、新たな技術やノウハウで課題解決とビジネス拡大を両立させるといふ新たな仕組みが、企業にとって不可欠となっています。

持続可能な未来のための 達成すべきゴール

深刻化する気候変動や貧困問題、エネルギーや食糧問題など、世界が抱えるさまざまな問題は、いまや1つの国や企業では対処できない課題です。そこで世界が同じ方向に向かい、課題解決とよりよい未来を目指すために採択されたのが、SDGsです。今、世界中に広がりをみせるSDGsの動きや取組をシリーズで紹介していきます。

SDGs特集 2030への一歩

私たちは 持続可能な開発目標 SDGsを 支援しています。

※50音順

- OKB
- 岐阜信用金庫
- 株式会社 三光堂
- SUNSHOW GROUP 三承工業株式会社
- 社会保険労務士 加藤一正事務所
- トヨタホーム岐阜株式会社
- HUMAN HEART
- 株式会社 マルエ産業

プロジェクト特設サイトオープン

最新事例を紹介

支援している企業の 取り組み情報や活動事例の 紹介はこちらから



取り組み企業、事例について お寄せください。

SDGs岐阜推進プロジェクト 中日アド企画 岐阜支社内 岐阜市橋ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル7階 TEL.058-265-6281